

吉備津神社の神官を務めた賀陽氏の館跡か  
伝賀陽氏館跡



指定区分	県指定史跡
読みかた	でんかやしやかたあと
所在地	岡山市北区川入
指定年月日	昭和34年3月27日
解説	鎌倉時代以降、備中国の有力者で、吉備津神社の神官を務めた賀陽氏の館跡といわれている。 東西75m、南北60mの館跡は現在畑地等となっているが、周囲には幅約30m、深さ2mの堀跡が残っており、中世の豪族居館の典型的な遺構である。
アクセス方法	JR吉備津駅から1.7km
公開状況	自由
設備	
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	伝賀陽氏館跡
よみかた	でんかやしやかたあと
しょざいち (所在地)	岡山市北区川入
していたひ (指定した日)	昭和34年3月27日
せつめい	鎌倉時代(かまくらじだい)以降(いこう)に、備中国(びっちゅうこく)でもっとも力のあった賀陽氏(かやし)の館(やかた)がここにあったといわれています。跡地(あとち)は今では畑となっていますが、まわりには堀(ほり)の跡(あと)が完全な形で残っています。